/il	山台高等専	門学校		開講年度	平成30年度 (2	2018年度1	拇	業科目	ソフトウ	ナアエ学	其礎
		FIJ于仅		用两十/支	十八八八十尺(2	2010平皮)	1又	未作日 .	ノノドン	<u>'エアエチ</u>	- 圣诞
4日基礎	疋旧牧	1000				TAILE ()		丰四 / >://	,		
4目番号		0231				科目区分		専門 / 必修			
業形態		講義						学修単位:	: 2		
設学科		情報シ	ステムコ	<u> [学科</u>		対象学年		4			
設期		前期				週時間数		2			
対書/教	材	「ソフ	トウェブ	アエ学の基礎	」神長裕明,郷健太	郎,杉浦茂樹,高	橋正和,	藤田茂,源	[辺喜道(共立出版)	
当教員		髙橋 晶	子								
引達目標	票										
(B) □>					ができる能力, すな))手法, ソフトウェア					5.	
レーブリ	リック										
			理	想的な到達し	バルの目安	標準的な到達レ	ベルの目	安	未到達レ	ベルの目安	1
開発プロセスを理解する.				発プロセス <i>の</i> 考察できる	複数の開発プロセスを説明できる			最低限の説明ができない			
要求仕様策定を理解する.			相る	手の求める要	要求仕様を策定	要求仕様を策定できる.		要求仕様	東求仕様を策定できない.		
 学科の至	到達目標耳	頁目との	関係								
学習・教育	育到達度目	票 1 情報 3	システム		 シソフトウェアの知識	よスキルの体系的 とスキルの体系的	りで確実	 な修得			
ABEE d	当該分野で										
效育方法	去等										
情報の ログラムを の仕組み、 コンピュ する。				D基礎概念、ソフトウェア構築のためのデータ構造とアルゴリズム、プログラミンク なを翻訳実行するためのコンパイラとインタプリタの技法、基本ソフトウェアである 、ソフトウェアの開発プロセスを体系的に体得する。 ピュータシステムのソフトウェアを設計し実現する際の基礎技術であるソフトウェア					ラミング言う アであるオー トウェアエ	語の構文論 ペレーティ 学の基本的	と意味論、フ ングシステ <i>L</i> な知識を修得
	め方・方法				トウェア論, ソフト た, 学生自身が積極						
主意点		学生(ま、しつ	かりと教科書	<u>た,チエロタが 損極</u> の予習を行った上で が求められる。						
	前	18000	<u> </u>	, (1,), (313109 2 1 0 30						
X-X-11-E	_	週	运業	力突			調ブレ	 の到達目標			
		+-	授業内容								
		1週	ソフトウェア工学とは				ソフトウェア工学の考え方を理解する。				
		2週	ソフトウェアのライフサイクルと開発フ								
		3週	プロジェクト管理			プロジェクトの計画・管理・評価モデルを理解する。					
	1stQ	4週	要求獲得と要求分析				プロジェクトにおける要求獲得・分析を理解する。				
	1300	5週	要求種別と様々な仕様化ツール				ソフトウェア要求の種別を理解する。				
		6週	品質を上げるためのモデル化技法				要求モデル化技法,構造化分析を理解する。				
		7週	要求仕様書の書き方				要求仕様書の書き方を理解する。				
		8週	基本的な設計概念および原理				ソフト	ウェアの設	計概念・原	理を理解す	「る。
		9週	構造化分析設計				構造化	分析設計を理	理解する。		
前期		10週	プログラミングとツール				ソフトウェア開発におけるプログラミングを理解する				
		11週	=7	ト計画レニフ	トデータの作品		ハフトウェアのニフト計画について理解する				
			テスト計画とテストデータの作成 テスト計画とテストデータの作成				ソフトウェアのテスト計画について理解する。				
	2ndQ	12週				ソフトウェアのテスト計画について理解する。					
	LIUQ	13週	テスト技法				ソフトウェアのテスト技術について理解する。 ソフトウェア開発におけるテストについて理解する				
				トノハーデナル			\ · ·			- 人トについ	ヽて埋解する。
		14週	ーナ人	トの実施			+				
		14週	ソフ	トウェアの進	化 の貢献と課題		ソフト			利用につい)て理解する。 ほについて理解
			ソフ	トウェアの進	化の貢献と課題		+			利用につい)て理解する。 夏について理解
	 フ カ ロ・	15週	ソフ	トウェアの進 トウェアエ学	の貢献と課題		ソフト			利用につい合後の課題	いて理解する。 題について理解
	コアカリニ	15週 16週 キュラム	ソフリソフ ツフ	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到近	の貢献と課題	運	ソフト				
	コアカリニ	15週	ソフリソフ ツフ	トウェアの進 トウェアエ学	の貢献と課題 奎目標 学習内容の到達目		ソフト ソフト する。	ウェアの保 [・] ウェアのエ [・]		到達レベノ	
	コアカリニ	15週 16週 キュラム	ソフリソフ ツフ	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容	の貢献と課題 全目標 学習内容の到達目相 主要な言語処理プログラファア開発	コセッサの種類と	ソフト ソフト する。 特徴を記	ウェアの保 ウェアのエ*	守管理・再 学的貢献と		
類		15週 16週 キュラム 分野	ソフリソフ ツフ	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到近	の貢献と課題 室目標 学習内容の到達目標 主要な言語処理プロ	コセッサの種類とこ利用する標準的	ソフト ソフト する。 特徴を記 なツーノ	ウェアの保 ウェアのエ [*]	守管理・再 学的貢献と 総能を説明	到達レベノ 3	
ヒデル<u>−</u> →類 専門的能力	∠ >⊞ ⋜ ₽Ⅱ	15週 16週 キュラム 分野	ソフリソフ	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容 プログラミ ング	 の貢献と課題 室目標 学習内容の到達目標 主要な言語処理プロックランで言る。 プログラミング言語できる。 要求仕様に従ってきる。 プクラムを設計できる。 	コセッサの種類とこ利用する標準的語は計算モデルに標準的な手法にる。	ソフト する。 特徴を記 なツーノ よって分	ウェアの保 ウェアのエ	守管理・再学的貢献と 総能を説明 ととを説明	到達レベノ 3 4	
類		15週 16週 キュラム 分野	ソフリソフ	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容 プログラミ ング	を を を を を を を を を を できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	コセッサの種類とこ利用する標準的語は計算モデルに標準的な手法にる。	ソフト する。 特徴を記 なツーノ よって分	ウェアの保 ウェアのエ	守管理・再学的貢献と 総能を説明 ととを説明	到達レベノ 3 4 3	
計類 即門的能力	力 分野別に門工学	15週 16週 キュラム 分野	ソフリソフ	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容 プログラミ ング	 の貢献と課題 室目標 学習内容の到達目標 主要な言語処理プロックランで言る。 プログラミング言語できる。 要求仕様に従ってきる。 プクラムを設計できる。 	コセッサの種類とこ利用する標準的語は計算モデルに標準的な手法にる。	ソフト する。 特徴を記 なツーノ よって分	ウェアの保 ウェアのエ	守管理・再学的貢献と 総能を説明 ととを説明	到達レベノ 3 4 3	
類 門的能力	力 分野別の門工学	15週 16週 キュラム 分野	ッフ ツフ の学習 系分野	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容 プログラミ ング	の貢献と課題 室目標 学習内容の到達目標 主要な言語処理プロックションできる。 プログラミング言語できる。 要求仕様に従って、グラムを設計でき	コセッサの種類とこ利用する標準的語は計算モデルに標準的な手法にる。	ソフト する。 特徴を記 なツーノ よって分	ウェアの保 ウェアのエ	守管理・再学的貢献と 総能を説明 ととを説明	到達レベノ 3 4 3 3	
類 「門的能力 「中価割合」	力分野別門工学	15週 16週 キュラム 分野 の専 情報	ッフ ツフ の学習 系分野	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容 プログラミ ング ソフトウェ ア	の貢献と課題 室目標 学習内容の到達目標 主要な言語処理プロックションできる。 プログラミング言語できる。 要求仕様に従って、グラムを設計でき	コセッサの種類とこ利用する標準的語は計算モデルに標準的な手法にる。	ソフト する。 特徴を記 なツーノ よって分	ウェアの保 ウェアのエ	守管理・再学的貢献と 総能を説明 ととを説明	到達レベル 3 4 3 3 4	レ 授業週
類	カ 分野別 門工学	15週 16週 キュラム 分野 の専 情報	ソフ ソフ の 学習 系分野	トウェアの進 トウェアエ学 内容と到道 学習内容 プログラミ ング ソフトウェ ア	の貢献と課題 全目標 学習内容の到達目は 主要な言語処理プログラミング言語できる。 できる。 要求仕様に従ってきるのできる。 サフトウェアを中が、 は、説表	コセッサの種類とこ利用する標準的語は計算モデルに標準的な手法にる。	ソフトト リンフトト なツーノ よってが よってが より実行	ウェアの保 ウェアのエ	守管理・再学的貢献と 総能を説明 とを説明 したプロ	到達レベン 3 4 3 3 4	レ 授業週

0 0 0 0 0 0